⑷　試験種目

	大卒程度試験		
	試験種目	配点比率	
		建築区分以外	建築区分
第１次試験	基礎能力試験（多肢選択式）	２／９	２／９
	専門試験（多肢選択式）	４／９	2.5／９
	一般論文試験〔行政区分〕	１／９	—
	専門試験（記述式）〔行政以外の区分〕	１／９	2.5／９
第２次試験	人物試験	２／９	２／９

	高卒者試験・社会人試験（係員級）		
	試験種目	配点比率	
		事務区分	事務区分以外
第１次試験	基礎能力試験（多肢選択式）	４／９	2.3／９
	適性試験（多肢選択式）〔事務区分〕	２／９	—
	専門試験（多肢選択式）〔事務以外の区分〕	—	4.7／９
	作文試験〔事務区分〕	１／９	—
第２次試験	人物試験	２／９	２／９

⑸　その他

・　社会人試験（係員級）は、採用予定がある場合に実施

・　採用候補者名簿の有効期間は、大卒程度試験は３年、高卒者試験及び社会人試験(係員級)は１年

専門職試験

【特定の行政分野に係る専門的知識を有するかどうかを重視して行う係員の採用試験】

⑴　試験の種類

〈大学卒業程度〉

従前の国税専門官採用試験、労働基準監督官採用試験、外務省専門職員採用試験、航空管制官採用試験に加えて、皇宮護衛官採用試験（大卒程度試験）、法務省専門職員（人間科学）採用試験、財務専門官採用試験、食品衛生監視員採用試験を創設

※　法務省専門職員（人間科学）採用試験は、矯正心理専門職、法務教官、保護観察官を対象

〈高校卒業程度〉

従前の皇宮護衛官採用試験（高卒程度試験）、刑務官採用試験、入国警備官採用試験、航空保安大学校学生採用試験、海上保安大学校学生採用試験、海上保安学校学生採用試験、気象大学校学生採用試験に加えて、税務職員採用試験を新設するとともに、刑務官採用試験に、試験種目として柔剣道の実技試験を加えて行う試験区分を創設

⑵　受験資格

専門職種の特性等を踏まえ、試験ごとに設定

⑶　試験種目

基礎能力試験（多肢選択式）(第１次試験)、人物試験（第２次試験）のほか、専門職種の特性等を踏まえ、試験ごとに設定

経験者採用試験

【民間企業等における有為な勤務経験等を有する者を係長以上の職へ採用することを目的として行う中途採用試験】

⑴　試験の種類

採用予定がある場合に、府省別、職制段階に応じて設定

⑵　受験資格

大学卒業後５年以上又は高校卒業後９年以上の年数が経過していること。なお、対象となる官職を踏まえ、必要に応じて年数の上乗せ又は短縮を行うことや、特定の資格を有すること等を要件とすることもある

⑶　試験種目

基礎能力試験（多肢選択式）(第１次試験)、人物試験（第２次試験）を必須の試験種目とするほか、対象となる官職を踏まえ、試験ごとに設定

試験ごとに選択される試験種目：政策課題討議試験、政策論文試験、総合事例研究試験（記述式）、一般論文試験、専門試験（記述式）、外国語試験、経験論文試験、総合評価面接試験

表１―４　平成24年度国家公務員採用試験の試験日程（総合職試験・一般職試験・経験者採用試験の場合）

	試験名	申込受付期間	第１次試験日	第２次試験日	最終合格者発表日
総合職試験	院卒者試験	４月２日(月)～４月９日(月)	４月29日(日)	筆記試験：５月27日(日) 政策課題討議試験・人物試験：６月６日(水)～６月15日(金)	６月25日(月)
	大卒程度試験			筆記試験：５月27日(日) 人物試験：５月29日(火)～６月15日(金)	
	院卒者試験（法務区分）	９月11日(火)～９月20日(木)	９月30日(日)	政策課題討議試験・人物試験：10月11日(木)・12日(金)	10月18日(木)
	大卒程度試験（教養区分）	８月14日(火)～８月21日(火)		政策課題討議試験・企画提案試験・人物試験：11月６日(火)～11月20日(火)	12月14日(金)
一般職試験	大卒程度試験	４月10日(火)～４月19日(木)	６月17日(日)	人物試験：７月18日(水)～８月６日(月)	８月22日(水)
	高卒者試験	６月26日(火)～７月10日(火)	９月９日(日)	人物試験：10月18日(木)～10月25日(木)	11月20日(火)
	社会人試験（係員級）				
経験者採用試験		８月14日(火)～８月21日(火)	９月30日(日)	10月～11月	～12月上旬